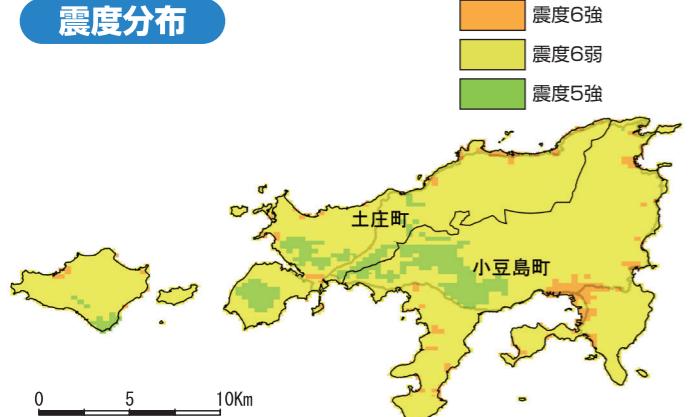


震度・津波

香川県の調査では、南海トラフで最大クラスの地震が発生した場合、小豆島では震度5強から震度6強の揺れが生じ、沿岸部では津波が発生する危険性があります。
甲生地区でも、津波が予測されています。

震度分布



「津波浸水予測図」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものであります。（出典：香川県）

- 香川県の津波浸水予測図は、以下のホームページで見ることができます。

https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir2/dir2_2/dir2_2_6/w00p3b150617141706.shtml



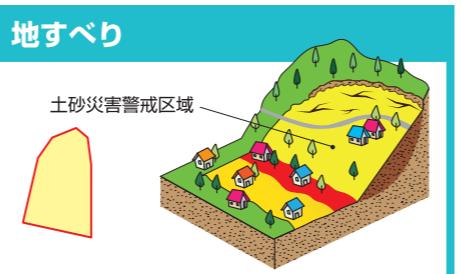
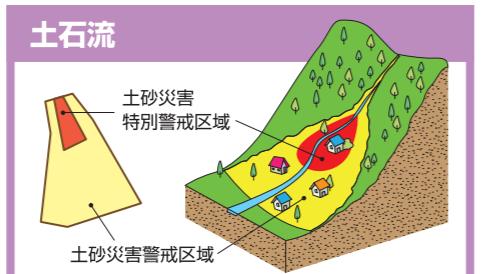
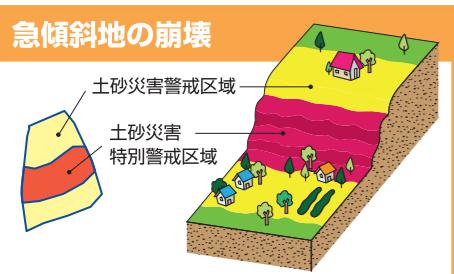
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



土砂災害防止法による土砂災害警戒区域・特別警戒区域は土砂災害(急傾斜地の崩壊・土石流・地すべり)が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域を指定したものです。普段から防災情報を収集し、早めの避難を心がけましょう。

このマップに示した土砂災害警戒区域・特別警戒区域以外でも土砂災害が発生する場合があります。

「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4Sf 11」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」



対象池位置図



今後高い確率で南海トラフ地震が発生すると予測されています。また、近年では、時間雨量50mmを超える雨が頻発するなど、雨の降り方が、局地化・集中化・激甚化しています。農業用ため池「末広池」が南海トラフ地震などによって大きな被害を受け、堤防が決壊してため池から水が一度に流出した場合を想定し、そのはん濫水が到達する可能性のある区域の最大範囲と予測される浸水の深さを表示したものです。実際に、はん濫の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の程度、周辺の土地利用の状況等により、これと異なる可能性があります。

地震が起きたら「まずは安全な場所に逃げること」が何より大切です。

地域のみなさんでこの地図をご活用いただき、災害時の安全確保に努めてください。

地震時心得10ヶ条

地震が発生したら、落ち着いて早めの避難を心掛けましょう。
未広池が決壊した場合、はん濫水は急勾配のため池下流の河川に沿って一気に流れますので、特に早めに避難することが重要です。

- The illustrations correspond to the following tips:

 - 1 まず身の安全を!**: A person running away from a burning building.
 - 2 すばやく火の始末**: A woman quickly moving away from a burning stove.
 - 3 戸を開けて出口の確保**: A person opening a window to escape.
 - 4 火が出たらすぐ消火**: A person using a fire extinguisher on a fire.
 - 5 あわてて外に飛び出さない**: A person jumping out of a window.
 - 6 狹い路地やブロック塀には近づかない**: A person running away from a wall.
 - 7 協力し合って応急救援**: Two people assisting an injured person.
 - 8 山崩れ、がけ崩れ、津波に注意**: A person running away from a falling rock or a tsunami wave.
 - 9 避難は徒歩で**: A group of people walking away from a disaster area.
 - 10 正しい情報を聞く**: A person listening to a radio for information.

わが家の防災メモ

避難場所

家族の集合場所

家族の連絡先

親戚・知人の連絡先